



膀胱炎って?

膀胱に炎症が起こり排尿時に痛みが生じる病気。

膀胱に炎症が起こることが原因となり、血尿、頻尿、排尿時の痛みなどの症状が見られます。排尿困難や血尿などの泌尿器症状を引き起こす「猫下部尿路疾患(FLUTD)」の要因の1つです。

主な原因

原因は、大きく2つのタイプに分けられます。

1つめは尿路でできた結晶・結石が膀胱を傷つけて炎症を起こしたり、そこに細菌感染が起こる「細菌性膀胱炎」。原因となる結晶・結石の発生は、体質や食習慣も関係しているとされています。

2つめは結晶・結石や細菌感染など、具体的な原因が見つからない「特発性膀胱炎」です。

診断と治療法

膀胱炎は飼い主さんでも気づきやすい病気で、左記の症状で受診し、尿検査と超音波検査などを受けて診断されるケースが多いでしょう。治療はタイプに応じて、細菌や炎症を抑える抗生物質や消炎剤の投与、療法食を処方されることも。さらに、水分摂取のための工夫も必要です。

予防法

日頃から水の飲む量やトイレの回数、尿色や量などをきちんと確認しておきましょう。

原因にかかわらず膀胱炎の予防としては、「できるだけストレスを与えないこと」、「トイレを我慢させないように排尿しやすい環境を作ること」、「水分をたくさん摂らせること」が重要です。また、膀胱炎は「早期発見・早期治療」が重要ですので、変わった様子が見られるときには早めに受診するようにしましょう。

主な症状

- 尿に血が混じっている
- 陰部を頻繁になめる
- 排尿時に鳴く
- 少量の尿を何度もする
- トイレに何度も出入りする
- トイレ以外で排尿する
- 尿のニオイが強くなる など。

特発性膀胱炎では、ストレスを強く感じるような状況下での発症や悪化が見られることがあります。



雑誌「ねこのきもち」では、健康情報や困りごとなど飼い主さんの「知りたい!」を解決! ●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと

2号 (2ヶ月分) **無料!!**

